



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 不二ラテックス株式会社

コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員財務部長 (氏名) 畑山 幹男

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,762	11.1	168	45.1	158	47.2	99	39.3
27年3月期第1四半期	1,586	△0.3	116	△11.1	107	△10.0	71	△1.7

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 117百万円 (56.2%) 27年3月期第1四半期 75百万円 (△2.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	7.83	—
27年3月期第1四半期	5.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	8,101	2,242	27.7
27年3月期	8,201	2,125	25.9

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 2,242百万円 27年3月期 2,125百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,450	4.7	250	—	225	—	155	—	12.19
通期	7,000	4.3	505	180.2	460	176.8	320	—	25.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	12,861,992 株	27年3月期	12,861,992 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	149,574 株	27年3月期	147,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	12,713,205 株	27年3月期1Q	12,717,115 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、財政・金融政策をもとに景気の持ち直しが進み、円安の進行、原油安等の影響もあり緩やかな回復基調が続いております。また、設備投資については好調な企業業績を背景に本格的な回復に至らないものの増加傾向となっております。一方、世界経済は中国や新興国の景気減速、ギリシャ問題を抱える欧州の金融不安などにより、米国が景気回復基調にあるものの先行きは不透明な状況となっております。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的、かつ継続的に製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、17億6千2百万円と前年同四半期と比べ1億7千6百万円(11.1%)の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は、1億6千8百万円と前年同四半期と比べ5千2百万円(45.1%)の増益となりました。経常利益は、1億5千8百万円と前年同四半期と比べ5千万円(47.2%)の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9千9百万円と前年同四半期と比べ2千8百万円(39.3%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

#### ① 医療機器事業

主力の国内コンドームは、販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストアを中心とした販路開拓に加え、継続的にネット販売の強化と海外オファーの確実な取り込みと新規開拓を推進しました。しかしながら、国内市場では消費の減少傾向、価格の2極化、新素材製品のシェア上昇が続き、厳しい展開が続きました。一方、グローブカバー(感染予防製品)、内視鏡用医療バルーンを中心としたメディカル製品については引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、4億7千2百万円と前年同四半期と比べ1千7百万円(3.9%)の増加となりました。

セグメント損益は、先行する費用負担の影響もあり8百万円の損失(前年同四半期は5百万円の損失)となりました。

#### ② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、景気回復基調に伴い国内市場、輸出ともに受注は堅調に推移しました。住宅設備関連は引き続き堅調に推移し、自動車関連、家電の分野でも回復傾向が顕著となりました。さらに、国内外の設備投資が徐々に回復する中、産業用の分野も受注が回復傾向となりました。また、増産に向けて投入した自動化ラインが生産効率化に寄与し、製造コスト低減につながりました。

この結果、売上高は、11億1千万円と前年同四半期と比べ1億1千6百万円(11.7%)の増加となりました。

セグメント利益は、2億4千9百万円と前年同四半期と比べ4千万円(19.1%)の増益となりました。

#### ③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は景気回復基調の中、広告販促活動・イベントに持ち直しの傾向がみられました。風船・バルーンに欠かせないヘリウムガスの供給も徐々に回復し市場環境は若干ながら好転しました。

この結果、売上高は、1億1千1百万円と前年同四半期と比べ6百万円(5.9%)の増加となりました。

セグメント利益は、2百万円(前年同四半期は3百万円の損失)となりました。

#### ④ その他

売上高は、6千7百万円と前年同四半期と比べ3千5百万円(111.1%)の増加となりました。

セグメント利益は、1千5百万円と前年同四半期と比べ1千4百万円(―%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、81億1百万円となり、前連結会計年度末と比べ9千9百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の6千6百万円の減少などによるものであります。

負債総額は58億5千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億1千6百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の2億8百万円の減少などによるものであります。

純資産総額は22億4千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億1千6百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の9千9百万円の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は27.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、平成28年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日公表の平成27年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,648,740	1,660,587
受取手形及び売掛金	1,949,136	1,882,338
電子記録債権	24,881	43,344
商品及び製品	317,995	313,468
仕掛品	550,702	557,530
原材料及び貯蔵品	571,197	587,360
その他	190,491	177,089
貸倒引当金	△533	△532
流動資産合計	5,252,610	5,221,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	690,459	681,440
土地	1,150,660	1,150,660
その他(純額)	476,993	446,305
有形固定資産合計	2,318,113	2,278,406
無形固定資産	165,223	154,954
投資その他の資産		
その他	461,855	443,937
貸倒引当金	△2,962	△2,929
投資その他の資産合計	458,893	441,008
固定資産合計	2,942,229	2,874,368
繰延資産	6,344	5,784
資産合計	8,201,184	8,101,339
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,242,183	1,259,163
短期借入金	2,308,000	2,100,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	1,436	48,277
賞与引当金	112,250	166,621
その他の引当金	-	5,076
その他	392,033	355,525
流動負債合計	4,275,903	4,154,664
固定負債		
社債	440,000	440,000
長期借入金	600,000	550,000
退職給付に係る負債	238,507	229,809
その他	521,088	484,274
固定負債合計	1,799,596	1,704,084
負債合計	6,075,500	5,858,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	928,442	1,027,990
自己株式	△30,775	△31,296
株主資本合計	1,789,129	1,888,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,528	71,000
土地再評価差額金	275,145	275,546
為替換算調整勘定	21,339	21,497
退職給付に係る調整累計額	△15,458	△13,611
その他の包括利益累計額合計	336,554	354,433
純資産合計	2,125,684	2,242,590
負債純資産合計	8,201,184	8,101,339

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,586,223	1,762,297
売上原価	1,171,599	1,273,660
売上総利益	414,623	488,637
販売費及び一般管理費	298,536	320,145
営業利益	116,086	168,492
営業外収益		
受取利息	103	124
受取配当金	2,827	3,171
受取賃貸料	3,134	-
その他	2,102	2,183
営業外収益合計	8,167	5,479
営業外費用		
支払利息	14,185	14,015
賃貸費用	1,288	-
その他	1,285	1,670
営業外費用合計	16,759	15,685
経常利益	107,494	158,285
特別損失		
固定資産除却損	68	571
固定資産売却損	23	-
特別損失合計	91	571
税金等調整前四半期純利益	107,402	157,714
法人税、住民税及び事業税	59,241	44,523
法人税等調整額	△23,284	13,642
法人税等合計	35,956	58,166
四半期純利益	71,446	99,548
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,446	99,548



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	71,446	99,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,495	15,472
土地再評価差額金	-	401
為替換算調整勘定	△2,410	158
退職給付に係る調整額	1,630	1,846
その他の包括利益合計	3,715	17,879
四半期包括利益	75,162	117,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,162	117,427
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	454,634	994,214	105,229	1,554,079	32,144	1,586,223	—	1,586,223
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	454,634	994,214	105,229	1,554,079	32,144	1,586,223	—	1,586,223
セグメント利益 又は損失(△)	△5,412	209,112	△3,332	200,367	763	201,131	△85,044	116,086

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△85,044千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	472,476	1,110,538	111,426	1,694,442	67,855	1,762,297	—	1,762,297
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	472,476	1,110,538	111,426	1,694,442	67,855	1,762,297	—	1,762,297
セグメント利益 又は損失(△)	△8,452	249,157	2,024	242,729	15,464	258,194	△89,701	168,492

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△89,701千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。